

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">25年6月27日</p> <p>大分県知事 殿</p> <p style="text-align: center;">提出者</p> <p style="text-align: center;">住所 大分県大分市高松1-9-16 安松ビル201号室</p> <p style="text-align: center;">氏名 東亜建設工業株式会社大分営業所 所長 三浦 寿雄</p> <p style="text-align: center;">電話番号 097-552-3636</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	東亜建設工業株式会社 大分営業所
事業場の所在地	大分県大分市高松1-9-16 安松ビル201号室
計画期間	平成25年4月1日 から 平成26年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高 95億31百万円
③従業員数	116名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR subgraph WasteTypes [産業廃棄物の種類] W1[コンクリートがら] W2[アスベストがら] W3[ガラス・陶器くず] W4[プラスチック類] W5[金属くず] W6[建設汚泥] W7[木くず] W8[廃石膏ボード] W9[混合産業廃棄物(安定型品目のみ)] W10[混合産業廃棄物(管理型品目含む)] W11[石積置産業廃棄物(土練スレート)] end subgraph Processing [処理工程] P1[選別] P2[分別] P3[選別] P4[選別] P5[選別] P6[選別] P7[選別] P8[選別] P9[選別] P10[選別] P11[選別] end subgraph Disposal [処理方法] D1[焼却] D2[焼却] D3[焼却] D4[焼却] D5[焼却] D6[焼却] D7[焼却] D8[焼却] D9[焼却] D10[焼却] D11[焼却] end W1 --> P1 --> D1 W2 --> P2 --> D2 W3 --> P3 --> D3 W4 --> P4 --> D4 W5 --> P5 --> D5 W6 --> P6 --> D6 W7 --> P7 --> D7 W8 --> P8 --> D8 W9 --> P9 --> D9 W10 --> P10 --> D10 W11 --> P11 --> D11 </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（ 24 年度）実績】 別紙の通り	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	(これまでに実施した取組) 工事作業工程の見直しを進め、廃棄物発生量を削減する。	
②計画	【目標】別紙の通り	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	(今後実施する予定の取組) 工程の見直しを行ったり、再生利用を進めることで廃棄物の発生量を抑制する。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 基本的に混合廃棄物が出さないよう、推進している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後は混合廃棄物の委託処理をやめ、分別をさらに推進する。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 24 年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託業者の調査		

②計画	【目標】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 委託業者をよく調査し、優良業者を選定する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書内訳(前年度(平成24年度)実績)

別紙

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量②	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量④	全委託量 (①-(②+③+④))	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
コンクリートがら	3,813.590				3,813.590		3,813.590		
アスコンがら	88.650				88.650		88.650		
ガラス・陶磁器くず	1.000				1.000		1.000		
廃プラスチック類	61.950				61.950		61.950		
建設汚泥	8.800				8.800		8.800		
紙くず	1.800				1.800		1.800		
木くず	57.750				57.750		57.750		
廃石膏ボード	31.620				31.620		31.620		
混合廃棄物(安定型品目のみ)	12.740				12.740		12.740		
混合廃棄物(管理型品目含む)	5.980				5.980		5.980		
					0.000				
合計	4,083.880				4,083.880		4,083.880		

産業廃棄物処理計画書内訳(今年度目標値)

別紙

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量①	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量②	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量④	全委託量 (①-(②+③+④))	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
コンクリートがら	150.000					150.000	150.000		
アスコンがら	450.000					450.000	450.000		
ガラス・陶磁器くず	15.000					15.000	15.000		
建設汚泥	185.000					185.000	185.000		
合計	800.000					800.000	800.000		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。